



# 建設全民安心生活的社區 ～基於大阪・箕面市“北芝”的事例～

NPO法人  
暮らしづくりネットワーク北芝  
池谷啓介

# “北芝”的地區建設對策 MAP

北芝地区

- ◆大阪府箕面市(人口13万人)
- ◆遭受歧視的部落地區
- ◆僅有約200戶居民的小社區

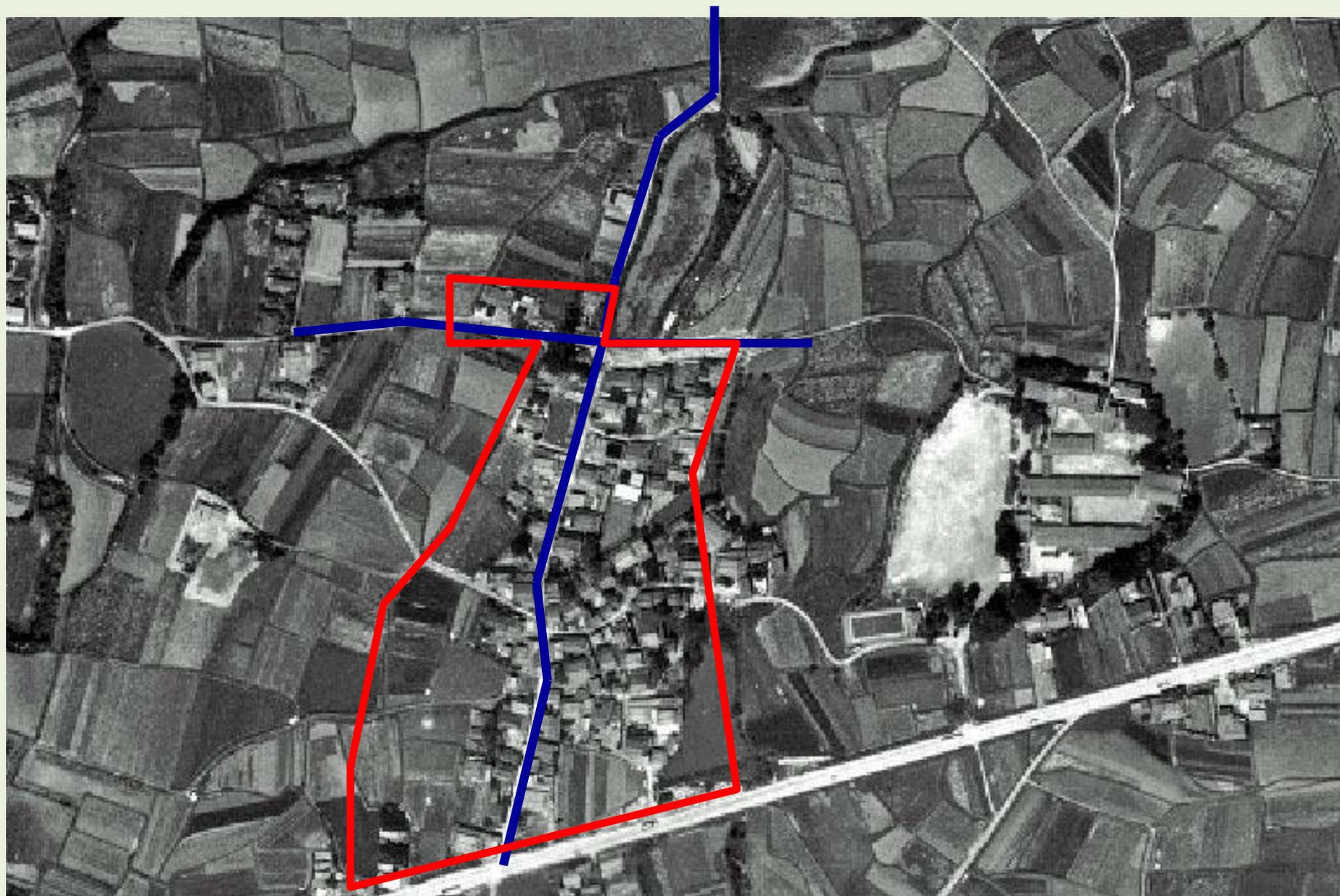


KURASHI ZUKURI  
Network  
KITASHIBA

# “北芝”的現在(2017年)



# 1961年的北芝(57年前)



# 從“穩定基本生活環境”向“建設住民參與企劃型社區”轉變

## ●1969年 成立 部落解放同盟北芝支部

- ・改善環境、提高生活基本水準
- ・以青年人為主力的部落解放運動



## ●1970年代～1980年代

- ・「教育を守る会」(維護教育集會)
  - ・「解放こども会」(兒童解放集會)
  - ・青年部、女性部等
  - ・居住、教育、福祉、労働
- 各方面生活條件得到



## ●轉型之契機

- ・89年 “箕面市役所歧視事件”⇒創立箕面市人權文化
- ・89年 箕面市教育現狀調查(針對学力・自尊感情・家長的調查)

⇒不再依賴於政府。並開始了對“個人津貼”的探討、修正



1990年代～ 不再依賴政府  
～用自己的雙手創建自己的美好社區～

- ・ 配餐服務 “老媽的味道”
- ・ いきがい（尋求人生價值）的福祉就職  
「まかさん（Makasan）会」
- ・ 北芝解放太鼓保存会 “鼓吹”



2001年設立NPO 定位為  
中間支援團體

暮らしづくりネットワーク北芝





## 「つぶやき」ひろいがきっかけに



# “地區迎送服務”

## 「かやのタクシー」



### 攜你的心情上路！！



1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30

きたしほお宝発福隊「福祉政策研究会」寄付会員券

きたしほお宝発福隊は、北区区民が地域で安心して暮らしていけるよう  
なす。助け合いのコミュニティを実現するための調査研究を実施し  
ています。その一環として、北区区民のみなさまの寄付による福祉  
政策研究会を運営しています。今回、寄付会員になっていただければ、  
お宝発福隊の一環として寄付実務する事業のモニターとして、お宝発福  
隊を応援いただけます。 ※有効期限 2007年3月31日



- 會員制、互幫互助型  
地區迎送服務 『かやの (Kayano) Taxi』



# ボランティアグループ「がってんだ」

★ヘルパー2級講習会がきっかけ！！

「茶がゆの会」

「モーニング」

「おせちプロジェクト」など

・自分たちに必要なサービスを

住民ボランティアグループが企画・実践。



# 「キッズカフェ」「Kids Café」



# 在經常光顧粗點心鋪的孩子們的呼聲中誕生



## 經過社區飯店研修、試作，正式運行！



開店當天座無虛席，非常火爆！！

# 社會體驗中獲得學習的機會

## 在社區中學習的 重要性





每月一次的早市  
“芝樂市”



○每月一次居民見面的機會  
○與平常不參加其他“居場所Ibasho”活動的人邂逅

○通過“幫忙”和“體驗”參與社會活動  
○一個跨越地位、境遇的空間  
○自然而然地將社區內外的居民聯繫起來





その時々に合わせて  
事業のリニューアル



駄菓子屋 バー

# 2010年 成為“隣保館”指定管理者

- ・綜合生活諮詢、教育諮詢
- ・展覽、研討會企劃
- ・兒童的“居場所(Ibasho)”育兒扶助
- ・設施的使用(租借場地)
- ・育兒支援中心“居場所(Ibasho)”“太陽小屋”
- ・圖書角

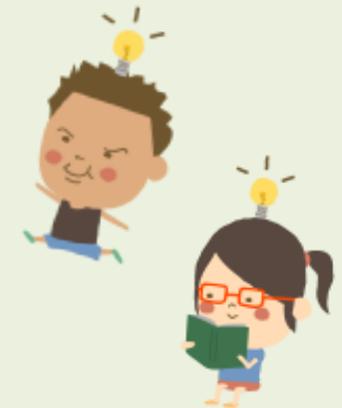
・社会福祉法  
作為“第2種社会福祉事業隣保事業  
(常駐型社會福祉服務)”發揮作用





# 地區流通貨幣“まーぶ (Ma-Bu)”

- 孩子也能掙取並在社區使用的貨幣
- 掙錢目的可以分為：“為了自己的未來”、“為了某個人”



地域活動・ボランティア  
得意を生かして  
「仕事」をする  
**工作！！**

## 學習！

自分の未来のため  
になる勉強をする  
プロに仕事を教わる  
地域や社会のことを  
知る

地域の行事に参加  
まちのお店で買い物  
習い事をする  
**玩樂！**





# 地域通貨「まーぶ」の利用

## ぴあぴあ食堂

由於假期期間來“らいとぴあ (Raitopia) 21隣保館”的孩子當中，存在中午飯家裏沒人做，沒有帶飯的情況，“らいとぴあ (Raitopia) 21”開展了午餐活動

孩子每人交100“まーぶ (Ma-Bu)”，就可以享用午餐



☆地區居民作為大廚參與活動



# 社会体験 咖啡烘培計畫



# 社会体験 年輕人運營的Café



# 社會體驗型 年輕人的力量 × 地區的課題 → 創業！



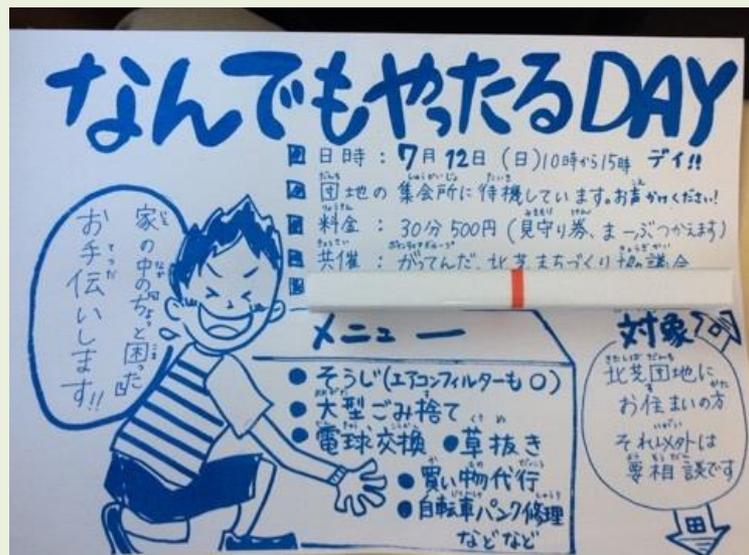
「なんでもやったるDAY！」

研究助成プログラム・国内助成プログラム  
公益財団法人トヨタ財団 助成金贈呈式



# 地區中“稍微有點需要幫忙的事”×年輕人的力量

- 開始了主要以老年人為對象的非正式生活支援服務事業
- 利用年輕人的力量智慧，建立起老年人和年輕人互相幫助、支持的模式



# 社会体験⑤若者 × 地域の困りごと .. 起業へ！

## なんでもやったるDAY！

### 參與活動的人

- “想要做點什麼”的年輕人們（15歲～25歲）
- 心靈手巧的老大爺們
- 一點忙都幫不上的NPO職員
- 樂意拿飯菜招待別人的大媽們

### 【重視點】

- 在社會當中被邊緣化的年輕人
- 不是一味的受救助，而是切切實實能為地區做貢獻
- 能夠在地區課題的解決過程中，實現自我價值並感到自己有用武之地



# 生活・“居場所(Ibasho)”支援 居住環境支援

## 2011年開始對社區小屋的利用

從補貼經費和示範化事業相結合的現有制度出發，  
接納未受救助的貧困居民

這個組織的成立初衷不是單純為了改善居住環境  
職員們在諮詢當中對偶爾發現的需求進行整合，  
組成團隊並開始進行支援。

。



## 與地區的聯繫

不僅僅是與職員進行交流的封閉式關係，而是和地區進行廣泛聯繫的生活方式。

通過與地區居民建立關係，參加地區活動，能夠邂逅多彩的價值觀與文化

不是被專家“問診”，而是被地區居民“問候”、“噓寒問暖”。因此能夠得到不同於被救助的關係體驗。

# 生活・“居場所 (Ibasho)”支援 社会“居場所”藍天



## 生活・“居場所 (Ibasho)”支援 親歷者研究會



以由於“不可見的生活痛苦”而苦惱的年輕人為中心，開展活動

參加者可以不受立場、性別、社會角色的拘束，根據主題發表意見，平等地探討各自的想法和價值觀。

# 生活・居場所サポート みんなの食卓プロジェクト



若者 × 食 × 子育て層

# 社会体験 生み出す・作り出す就労体験

地域の資源・ニーズ × 若者



地域で生み出す就労体験



米ぬかカイロづくり



折り込み・ポスティング



引っ越し手伝い



カフェうまみ堂の出店

# 社會體驗 在地區建設中擔當的角色

- 【地區的需求、所發揮的作用】
- 兒童事業支援活動
- 在地區祭典、早市等幫忙
- 和太鼓等傳統文化
- “共濟”服務等

由“被救助者”  
向“肩負重任的人”轉變





ありがとうございました。

謝謝

